

令和2年度 中津川市 教育の方針と重点

中津川市教育委員会

中津川市教育振興基本計画 **学び、活かす市民**

～ みんなで育つ幼児教育 生きぬく力を育む学校教育 ～

めざす姿

「よりよいひとりだち」

方針

生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成

「知識 と 知恵」 → 「生きぬく力」

機能する組織

面倒見のよい先生

身に付くまで

重 点

学力・指導力向上

- ◇研修（幼保小中）
- ◇指導（幼保）・教科指導（小中）
- ◇道徳教育（小中）
- ◇外国語教育（小中）

今日的な課題への対応

- ◇ICT教育（小中）
- ◇キャリア教育（小中）
- ◇防災教育（幼保小中）

安全・安心

- ◇生徒指導（小中）
- ◇特別活動（小中）
- ◇人権教育（幼保小中）
- ◇健康安全（幼保小中）
- ◇特別支援教育（小中）

特色ある教育活動

- ◇学力アッププログラム
- ◇幼保小中の連携
- ◇絆プラン
- ◇命の教育
- ◇地域力の活用
- ◇すご技中津川プロジェクト
- ◇岐阜サマーサイエンススクール

教師

指導力向上



子供

学力向上

園・学校経営の重点指導内容

○機能的な運営体制の確立

→教職員一人一人が責任を自覚しつつ、機能性のある運営体制を確立し、チームで対応する学校を構築する。

○子供の命を守り抜く危機管理体制の確立

→子供の命を最優先に考え、危機意識を共有するとともに、情報を一元化するなど、適切かつ確実な危機管理体制を確立する。

○教育内容の質的向上のため、データの蓄積・分析と課題改善に向けたPDCAサイクルの確立及び、校内研修の充実を図る。

→教育活動の成果を測るための適切な指標を設定し、計画、実施、評価、改善のサイクルを機能させ、教育内容の質の向上を図る。また、若手の育成に向け校内研修を充実させる。

○長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の一層の推進

→時間外勤務時間が月 45 時間以内となることを目指しつつ、まずは月 80 時間を超える職員ゼロを実現し、職員が笑顔で児童生徒と向き合える体制を構築する。

○服務規律の徹底

→誇りをもって職務に当たれるよう教育公務員としての使命を自覚し、自らの言動に責任をもって行動できるよう職員の意識の向上を図る。

幼稚園・保育園・こども園 重点指導内容

研 修 「課題解決する」

- ・園の課題や自己の課題を明確にし、課題解決のための主体的な研修を推進する。
- ・園児の「生きぬく力」の基礎となる心情・意欲・態度等を総合的に育むため、保育・教育の指導力の向上に努める。

指 導 「聞く力・話す力」「体験や環境の工夫」「見通しをもった指導」

- ・園児が「聞きたい」「話したい」と思える場を位置付け、「聞く力」「話す力」を付けるための継続的な指導を行う。
- ・園児が感じたり気付いたり、試したり表現したりすることができる豊かな体験や環境構成（人・もの・こと）を工夫する。
- ・園児一人一人の特性や発達、学びの連続性を踏まえて、入園から就学までの発達の見通しをもった指導に努める。

人権教育 「自他のよさや違いを認める」「思いやりと温かい人間関係」

- ・園児の実態を踏まえ、自他のよさや違いを認め合い、思いやりと温かい人間関係の醸成に努める。
- ・教職員の人権感覚を高め、人権教育に関する指導力の向上を図る研修を行う。

健康安全 「命を守り抜く指導」

- ・園児の命を守り抜くことを最優先に考え、全教職員が危機意識をもち、適切かつ確実な安全管理体制を確立する。
- ・園児が自他の命を守る意識がもてるよう、家庭、地域、関係機関との連携を図り、命を守る訓練等の充実を図る。

小学校・中学校 重点指導内容

【 学力・指導力向上 】

研 修 「主体的・計画的な研修の実施」

- 今日的な教育課題や学校と自己の課題について問題意識をもち、主体的に研修し、学んだことを問題の解決や授業改善につなげる。
- 計画的に校内研修（還元研修）を位置付け、校外研修を通して学んできたことを広める場を設定する。

教科指導 「読むこと・表現すること・粘り強く取り組むことの指導の充実」 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 目的をもって文章を読んだり、考え等を話したり書いたりする学習活動を位置付ける。また、最後まで粘り強く取り組むことについて認め励ます。（学力向上一点突破への位置付け）
- 客観的なデータの分析に基づいた実効性の高い指導改善プランの計画、実施、評価、改善のサイクルを機能させ、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

道徳教育 「よりよく生きる人格の形成を目指す道徳教育の推進」

- 道徳教育の目標・重点内容を中学校区で共有し、全教職員の協力体制のもと、教育活動全体を通じて道徳性が養われるようにする。
- 多様な指導方法や発問等を工夫し、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める道徳科の充実に努める。

外国語教育 「学級担任・専科教員が主体となる授業」「校内研修の充実」（小） 「小学校からの学びの連続性を踏まえた、『英語4技能』の確実な育成」（中）

- 学級担任や専科教員が主体となって行う授業づくりの継続と指導の充実に努める。（小）
- 指導方法等についての研修を全教職員が協力して行い、指導力の向上を図る。（小）
- 小学校での学習内容を踏まえて、「英語4技能」をバランスよく確実に育成する。（中）

【 安全・安心 】

生徒指導 「魅力ある学校づくりの推進」「組織的な対応力の向上」

- 授業の充実に柱に、児童生徒が充実感を味わい、安心できる居場所づくりに努める。また、「やりがい」を感じる活動を計画、推進することにより、いじめ等の未然防止に努める。
- SC や SSW 等の専門家を活用した教育相談的な生徒指導体制の整備を図ることにより、諸問題に対する組織的な対応力の向上を図る。

特別活動 「指導計画の工夫改善」「指導と評価の工夫改善」「学級経営の充実」

- 児童生徒が自己の生き方について考えを深め、新たな目標や課題がもてるよう指導計画を工夫改善する。
- 児童生徒が自発的・自治的な活動を展開し、自分のよさや可能性を発揮して、よりよい生活や人間関係を築くことができるように指導と評価を工夫改善する。
- 学級の諸問題を解決する活動を通して、望ましい人間関係や学級集団としてのまとまりを高め、学級経営の更なる充実に努める。

人権教育 「様々な人権問題に対する『認識力』『自己啓発力』『行動力』の育成」

- 「いじめは絶対許さない」という全教職員の共通理解に基づいた、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 様々な人権課題の解決に向けて、研修等を通して教職員の人権意識を高める。
- 「ひびきあい活動」を核とし、思いやりのある温かい人間関係を醸成する。

健康安全 「命を守り抜く指導」

- 自らの命を守り抜くための安全教育を充実させるとともに、危機管理マニュアル等の改善、地域・保護者・関係機関との連携体制の構築など、学校の安全管理体制の強化を図る。
- 全教職員が、応急手当講習等を通してAEDや人工呼吸器具等の使い方を含む、緊急対応についての知識と技術を身に付ける。
- 食物アレルギーを有する児童生徒が、安全・安心な学校生活を送るために、全教職員が正しい知識を身に付け、事故等の未然防止を含めた適切な対応ができるよう研修の充実を図る。

特別支援教育 「一人一人の教育的ニーズに合わせた切れ目のない指導・支援の充実」

- 一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、学校・家庭・関係機関が連携して適切な指導・支援を行う。
- 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を整備・活用し、園・小・中の連携のもと継続的で一貫性のある指導・支援を行う。
- 特別支援教育コーディネーターを中心として計画的、継続的に校内教育支援委員会を開催する。

【今日的な課題への対応】

ICT教育 「情報活用能力の育成」「情報モラル教育の充実」

- 「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて、ICT・プログラミング教育に焦点を当てた授業の実践を行う。
- 「ネット依存」「有害サイトへのアクセス」「ネット上のいじめ」等を取り上げ、家庭におけるインターネットの適切な利用に関する指導を計画的に実施する。

キャリア教育 「地域と連携したキャリア教育の推進」

- 地元の仕事に誇りをもたせ、望ましい勤労観・職業観が育つよう、他の教育活動との連携を図り、ねらいを明確にした体験活動等を位置付けるとともに、事前や事後の指導を充実する。（すご技中津川プロジェクト）
- キャリア教育について全教職員の理解を深め、育成すべき能力や態度を重点化するとともに、児童生徒の発達の段階に応じた全体計画及び年間指導計画を工夫改善する。（キャリアパスポートの活用）

防災教育 「防災に対する教職員の専門性の向上と防災マニュアル等の改善」

- 全教職員の防災についての専門性を高め、「命を守る」防災教育を主体的に普及・啓発していく教職員集団を組織するとともに、防災マニュアルの等の改善を図る。
- 児童生徒が自ら命を守り抜くために安全教育の充実を図る。

特色ある教育活動

学力アップ プログラム

自分のことは自分でする学習習慣・生活習慣づくり

- ・よりよい生活習慣の定着を図る。
- ・学力の定着を図る授業を進め、授業とつながる家庭学習を指導する。
- ・時間を決めるなど、ネット（SNS）やゲームと適切な関わり方ができる子供を育成する。

幼保小中 の連携

不安の解消・心身の安定・学びの定着

- ・発達や学びの連続した教育活動が展開できるよう、園・学校間の積極的な連携を図る。
- ・幼児期と小学校の円滑な接続のため「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、ジョイントカリキュラムを実践する。
- ・障がいのある子供について、個別の教育支援計画・個別の指導計画を整備・活用し情報共有する。

絆プラン

読書に親しむ態度を養う

- ・日常的に読書に親しむ時間を確保する。
- ・園・小学校では「読み聞かせ」等を積極的に行う。
- ・小・中学校では読書記録を残す取組を進める。
- ・心を豊かにする本と出会えるよう、学校図書館等の環境整備を行う。

命の教育

自己肯定感と人間関係力を構築する力の育成を図る

- ・情報モラル指導の強化を図るとともに、特別の教科 道徳など、教科等との関連から指導の充実を図る。
- ・外部講師との連携を図りながら、授業参観や講演会等を通して、保護者と一体となって学ぶ機会を重視する。

地域力の 活用

地域の人材・文化を活かして学校の教育力を高める

- ・保護者及び地域の教育力を幼児教育・学校教育に活かす。
- ・地域人材や地域文化等との関わりを通して、地域への愛着と誇りを育む。

すご技中津川 プロジェクト

キャリア教育・ふるさと教育の充実を図る

- ・地元企業を知り「すご技」に触れることを通して、地域への愛着と誇りを育む。
- ・企業見学当日の指導だけではなく、事前・事後の指導の充実やキャリアパスポートの活用などを通して、主体的な進路選択の基盤を育む。

岐阜 サマーサイエンス スクール

未来を担う人材の育成を図る

- ・これからの社会を担う青少年が、科学のおもしろさ、不思議さ、楽しさを実感し、科学への興味関心を高めることを目指す。

2020年度 中津川市 文化スポーツ部の方針と重点

中津川市文化スポーツ部

中津川市教育振興基本計画 **学び、活かす市民**

～ 生涯学習環境の整備 生涯学習内容の充実 市民が参加する教育体制の整備 ～

めざす姿

「いきいきとした人づくりの実現」

方針

3つの人づくり

「読書」「一市民1スポーツ」「ふるさとに誇りをもつ」

環境の整備

内容の充実

市民の参加

重点

I 生涯学習の振興

【環境の整備と内容の充実】

- 市民の学習活動のための環境整備
- 学び、活かす楽しい学習
- 親子が幸せに育つ家庭教育
- 未来を切り拓く子どもたちの育成
- ※阿木交流センターの整備

【市民の参加】

- 活力ある地域づくりの推進
- ボランティアの支援と協働推進
- 国際・国内交流の推進

III 文化の振興

【環境の整備と内容の充実】

- 人・まちづくりに活かす施設再編整備
- 特色を活かした歴史文化資源の整備
- 学び、活かす楽しい学習
- 守り・育てる中津川の文化
- ※文化会館の改修

【市民の参加】

- ボランティアの支援と協働推進
- ふるさとの絆を深める事業

II 読書活動の推進

【環境の整備と読書活動の推進】

- 市民の学びと交流を促進する環境整備
- 人づくりにつながる読書活動
- ※複合施設における図書館整備推進

【市民の参加】

- ボランティアの支援と協働推進

IV スポーツの推進

【環境の整備と内容の充実】

- 施設の効果的な運営と施設の整備
- 健康で、ライフステージに応じたスポーツ（ウォーキング普及）推進
- オリンピックを契機にスポーツ実践
- ※聖火リレー、米レスリングチーム合宿

【市民の参加】

- ふるさとの絆を深める事業

V 人権教育の推進

- 人権に関する学習や指導者研修の実施

職員 資質の向上



市民 参加と協働